環境・安全報告書 2022

旭有機材株式会社

当社の 2021 年度 事業活動における環境・安全に対する取り組みと成果をご報告いたします。

CONTENTS

1．環境・安全に対する基本姿勢
2．環境保全への取り組み
3．労働安全衛生および社員の健康増進への取り組み
4．保安防災への取り組み
5．製品安全への取り組み
6．地域・社会との協調と共生

1．環境・安全に対する基本姿勢

1）環境・安全に関する経営方針

当社では、環境・安全に関する経営方針を定めており、その方針の下、環境・安全に関する構成要素ごとに目標を定め、達成に向けて社員一丸となり取り組んでいます。

理　念

当社は、環境保全・労働安全衛生・保安防災および製品安全を経営の最重要課題のひとつとして捉え、常に人や環境に優しい製品を開発、生産ならびに提供することを使命と認識し、事業活動を通して地球環境の保全と安全・衛生の確保に努めます。

方　針

環境保全と安全確保は事業活動の基本である。

●環境保全活動の推進

製品に関わるすべての事業活動を通して環境保全に貢献します。

●安全衛生活動の推進

安全教育や設備安全化および安全衛生管理を通して、労働災害の防止を図ります。

●健康の保持と増進

快適な職場環境の実現に努め、健康の保持と増進を図ります。

●保安防災活動の推進

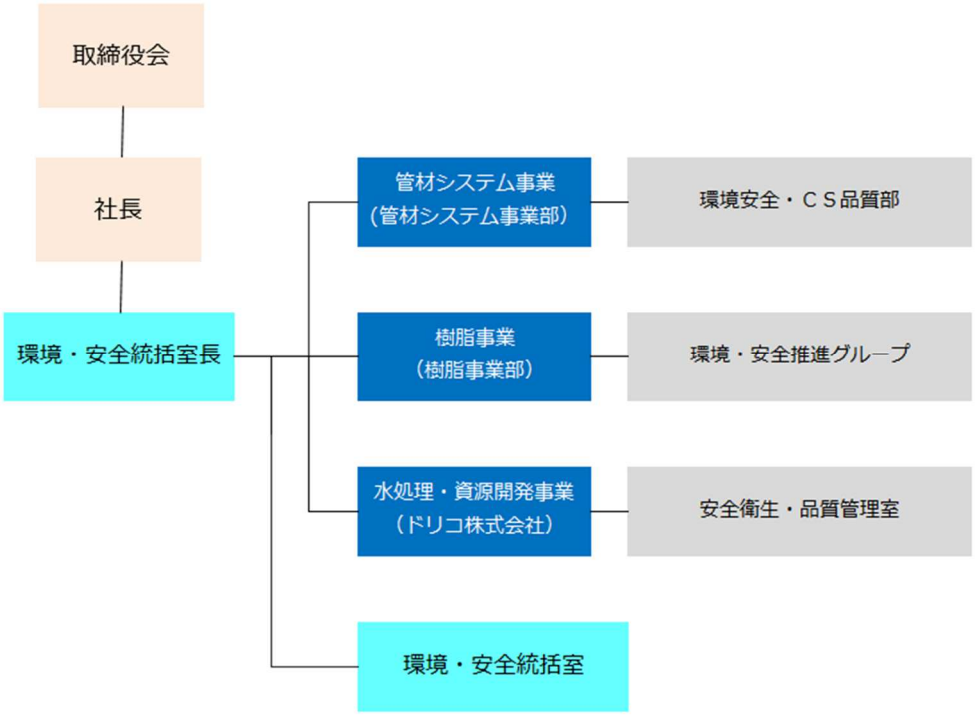
安定操業の維持と保安防災の向上に努め、従業員と地域社会の安全を確保します。

●製品安全の確保

製品の開発から廃棄に至るすべての段階において、技術向上と製品管理を徹底し、製品の安全性を確保します。

2）環境・安全に関する社内推進体制

当社グループでは環境・安全統括室長の下、環境・安全活動を統括しています。



3）環境・安全に関する重点課題

当社グループでは「環境・安全に関する経営方針」の下、以下の重点課題を掲げておりさらに重点課題に基づいたそれぞれの環境・安全に関する目標を設定し取り組んでいます。

項　目	重点課題
環境保全	① ゼロエミッションに向けた取り組み ② 地球温暖化防止対策活動（エネルギー原単位とエネルギー起源 CO_2 排出量の削減） ③ 環境負荷化学物質の移動量と排出量の削減 ④ 地域貢献活動の推進
化学物質	① 生産活動における有害化学物質の適正な管理 ② 化学物質による環境負荷の低減 ③ 製品等に含有する有害化学物質の削減または全廃
安全衛生・健康	① ５Ｓ活動（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の推進 ② リスクアセスメントによる設備・機械の本質安全化の追求 ③ 管理監督者の率先垂範による自主的な安全活動の実践 ④ 日常的な安全活動「教育、ＨＨＫ（ヒヤリハット気がかり)、ＫＹＴ（危険予知トレーニング)」、健康保持増進等の推進
保安防災	① 安定操業の維持のための保安防災管理のレベルの向上 ② 感染症対策（コロナへの対応） ③ 緊急時のための効果的な実地訓練の実施

2. 環境保全への取り組み

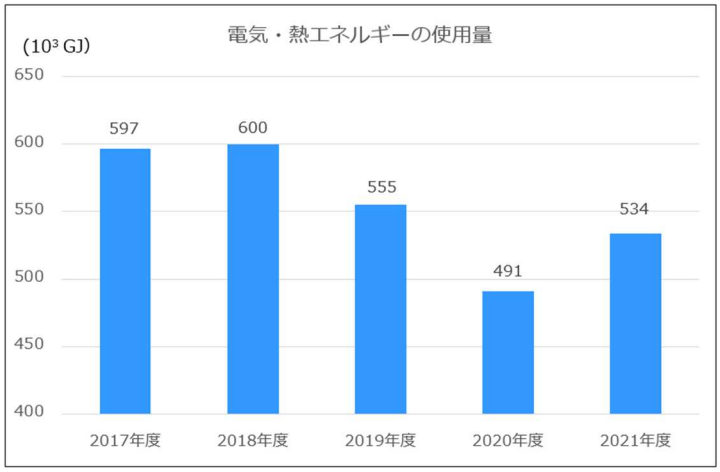
当社は ISO14001 環境マネジメントシステムをベースに環境保全に取り組んでいます。
その結果、これまでは各種エネルギー使用量の削減、それらの消費原単位の改善、廃棄物の削減等、成果を上げてきましたが 2021 年度は 2020 年度と比較し、生産量が増加し、その影響がトレンドの変化として表れています。

1）エネルギー使用量

・電気・熱エネルギー使用量

省エネ法に基づいて算定した、当社の各事業場で使用する電気・熱エネルギーは、生産量の増加に伴い 534 千 GJ と、昨年度に比べ約 43 千 GJ (約 8.8%) 増加しました。

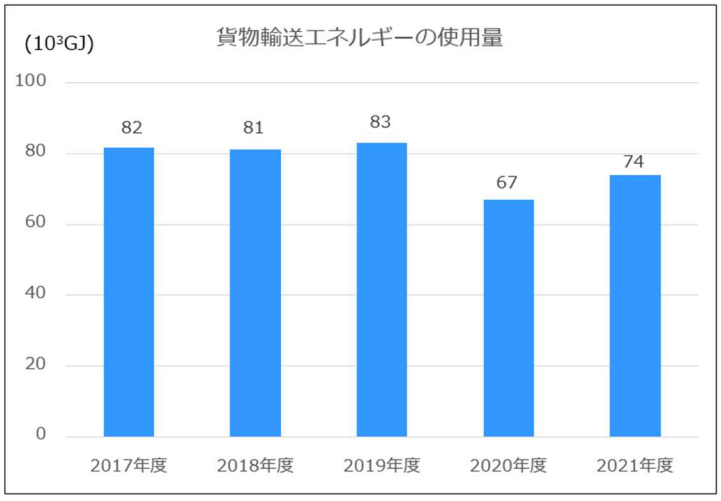
※エネルギー使用量は、換算係数により GJ へ換算。



・貨物輸送エネルギー使用量

省エネ法に基づいて算定した、当社の各事業場で使用する貨物・輸送エネルギーは、生産量の増加に伴い 約 74 千 GJ と、昨年に比べ約 7 千 GJ (約 10.4%) 増加しました。

※エネルギー使用量は、換算係数により GJ へ換算。



2）省エネルギーと地球温暖化防止

・電気・熱エネルギー消費原単位の削減

当社は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(以下、省エネ法) における「特定事業者」に指定されており、九州経済産業局に毎年、電気・熱エネルギーの使用に係る中長期計画書と定期報告書を提出しています。

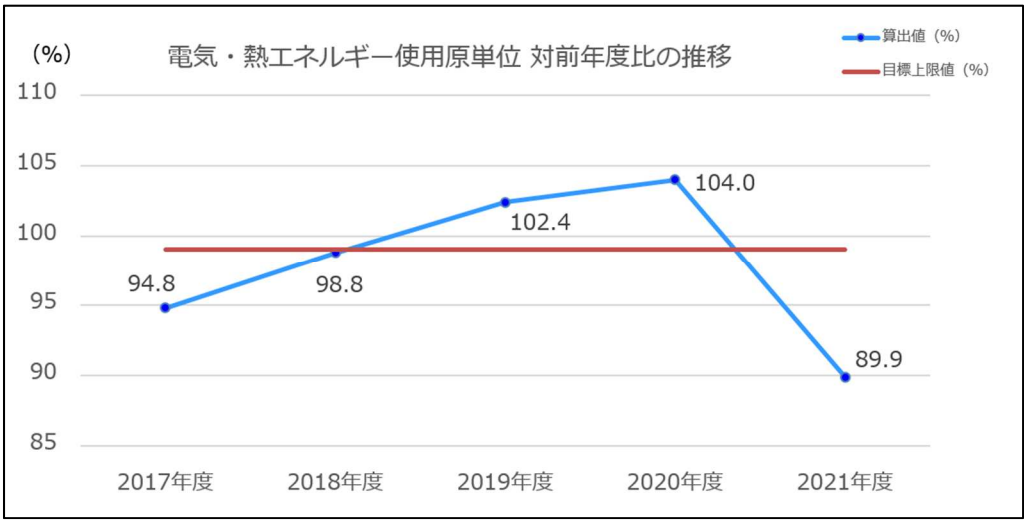
特定事業者は電気・熱エネルギー消費原単位の対前年度比 1 %以上、及び中長期的にみた年平均 1 %以上低減への努力が求められています。

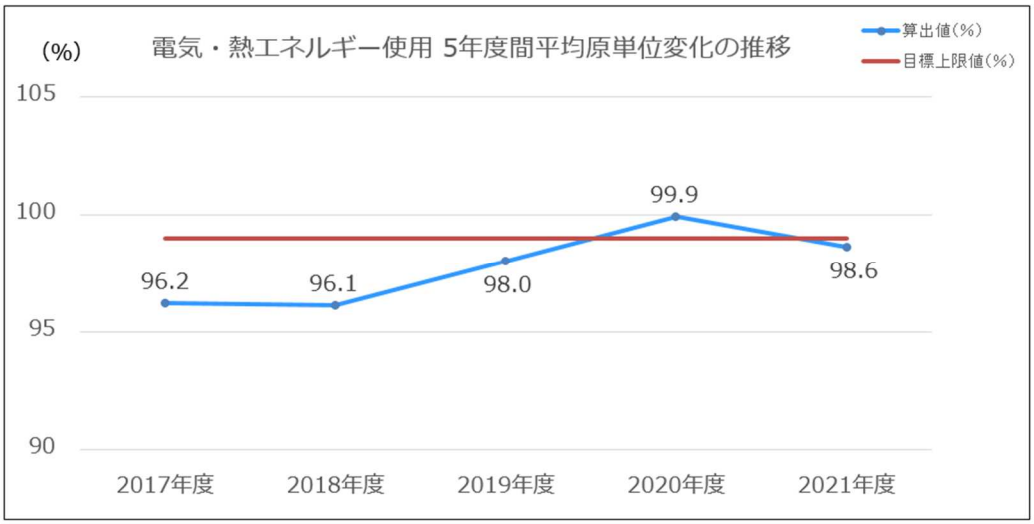
2021 年度の原単位は、対前年度比で 10.1%低減し、目標値の 1%以上削減を達成しました。また 5 年度間平均原単位変化についても、2020 年度に比べ 1 .4%低減し、目標値の 1%以上削減を達成しました。

これまで当社は計画的に省エネ関連投資を実施してきており、2021 年度においても射出成形機などの省エネルギー設備の導入を中心にエネルギー効率の向上を図ったこと、生産量が増加したことで、原単位は対前年度比、

及び 5 年度間平均原単位変化の両方で目標を達成しました。

2022 年度は、さらに省エネ法における特定事業者に課せられた努力義務を果たせるよう電気・熱エネルギーの消費効率の改善に努めます。





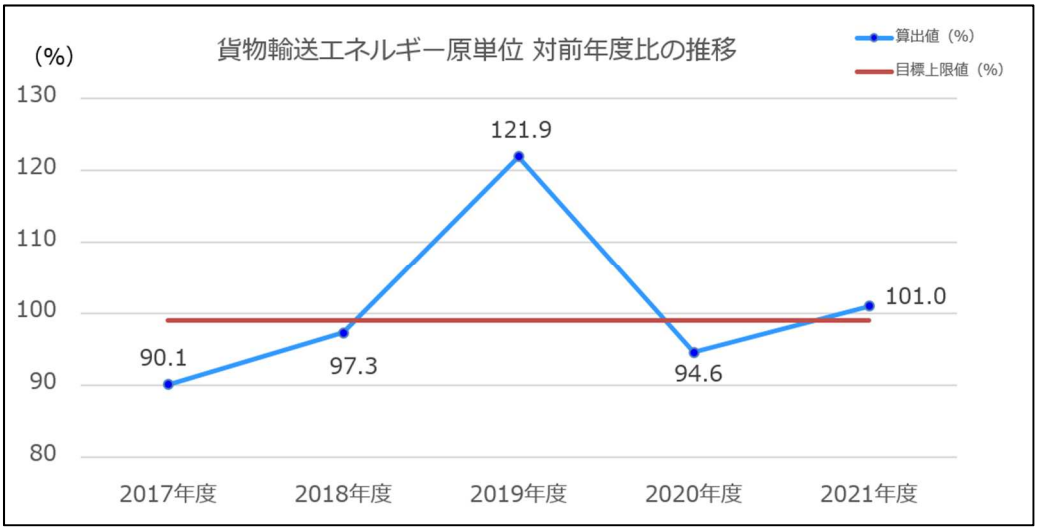
・貨物輸送エネルギー消費原単位の削減

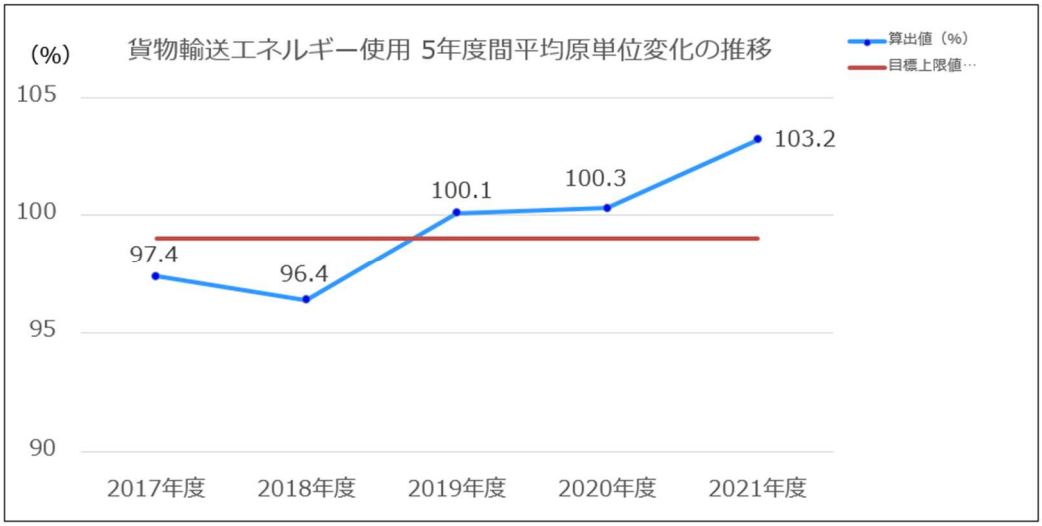
当社は省エネ法における「特定荷主」に指定されており、九州経済産業局に毎年貨物輸送エネルギーの使用に係る中長期計画書と定期報告書を提出しています。

特定荷主は、貨物輸送エネルギー消費原単位の対前年度比１％以上、及び中長期的にみた年平均１％以上低減への努力が求められています。

2021 年度の原単位は対前年度比で 1.0％増加し、５年度間平均原単位変化についても 3.2％増加となり 1%以下削減の目標を達成できませんでした。樹脂事業製品（ＲＣＳ）を扱う樹脂事業部、パイプ・バルブを扱う管材システム事業部とも、これまで積載率の向上、配送車両の大型化、JR 輸送への転換を図ってきましたが、生産量の増加に伴う輸送量の増加が改善を上回り、原単位が悪化しました。

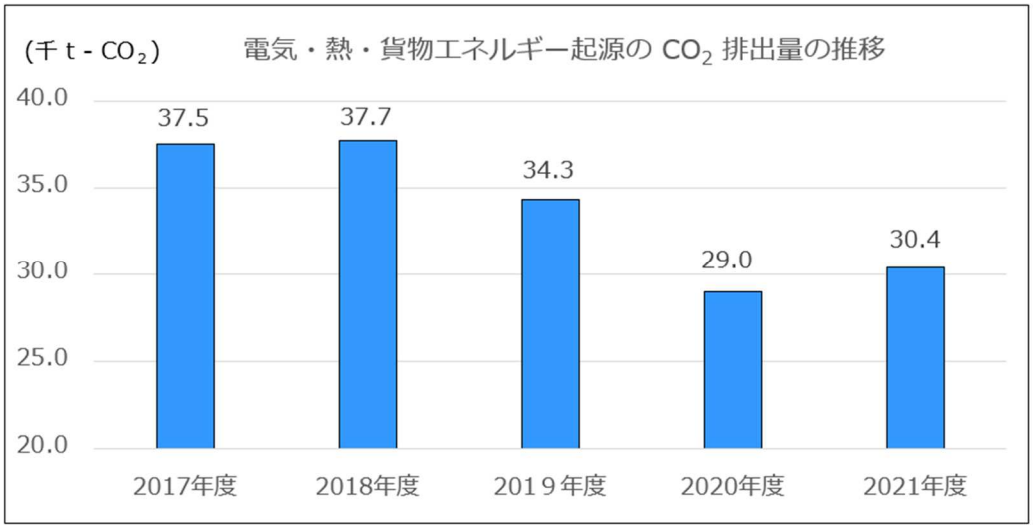
2022 年度は、省エネ法における特定荷主に課せられた努力義務を果たせるよう物流効率の改善に努めます。





・電気・熱・貨物輸送エネルギー起源 CO_2 排出量の削減

省エネ法に基づく 2021 年度の当社の電気・熱・貨物輸送エネルギー起源 CO_2 の排出量は、30.4 千 t-CO_2 となり、2020 年度と比べ 1.4 千ｔ と約 4.8% 増加しました。主な理由は生産量の増加によるものですが、これまで取り組んできた設備に使用する燃料の転換、高効率な設備への変更、CO_2 排出係数の小さい電力への変更の取り組み、及び物流の効率化等、積極的な省エネ活動の実施が寄与したことで CO_2 排出量は抑えられています。



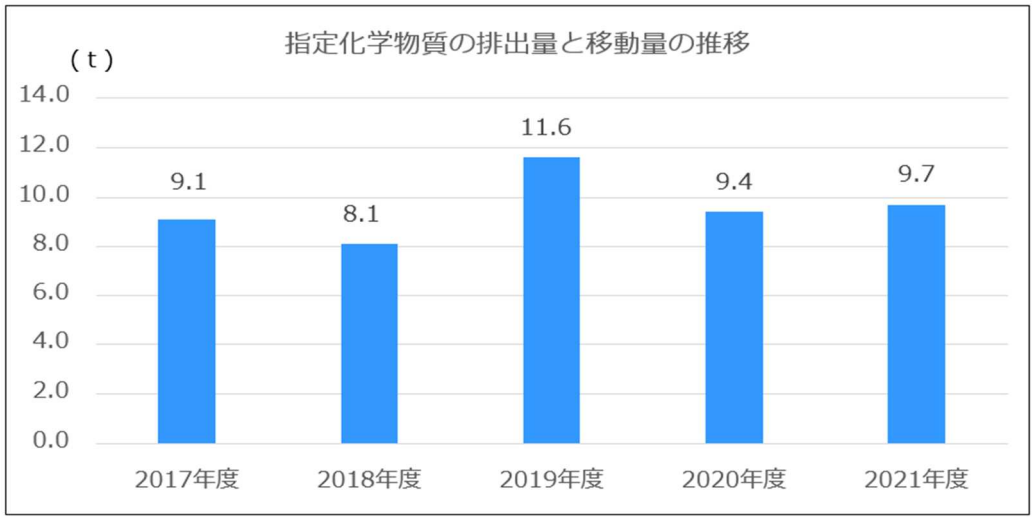
3）環境保全

・指定化学物質の排出量、移動量、及びその低減対策

化学物質管理促進法により指定されている化学物質の当社における排出量、及び移動量は、2020 年度と比べ 2021 年度は約 3.2%増加しましたが、生産量の伸びに比べ低く抑えられました。

当社では指定化学物質を含む原材料が入っている廃棄物量の削減を推進しており、今後も指定化学物質を適正に管理すると共に排出量・移動量の削減に努めます。

※ 化学物質管理促進法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律



＊お詫び

昨年度の環境・安全報告書において 2020 年度の排出量、移動量を 9.6 トンと報告していましたが計算にミスがあり、正しくは今回ご報告の 9.4 トンが正しい値です。今回訂正させて頂きます。

ＰＲＴＲに基づき当社が管理している指定化学物質

工場	指定化学物質名称
延岡工場	有機スズ化合物、鉛及びその化合物、アンチモン及びその化合物、ヘキサメチレンテトラミン、フェノール、ジシクロペンタジエン、メチレンビス(4,1－フェニレン)＝ジイソシアネート
愛知工場	亜鉛の水溶性化合物、ビスフェノール A、エピクロロヒドリン、2,4 キシレノール、2,6 キシレノール、キシレン、クメン、グリオキサール、クレゾール、1.4 ジオキサン、N,N ジメチルホルムアミド、ヘキサメチレンテトラミン、テトラエチレンペンタミン、トリエチルアミン、1,2,4 トリメチルベンゼン、1,3,5 トリメチルベンゼン、ナフタレン、フェノール、ホルムアルデヒド、メチルナフタレン、メチレンビス(4,1－フェニレン)、リン酸トリ－ノルマル－ブチル、鉛化合物、２―エチルヘキサン酸、カプロラクタム、酢酸マンガン、ダイオキシン類、ＤＭＦ
栃木工場	ヘキサメチレンテトラミン、有機スズ化合物、鉛及びその化合物、ダイオキシン類
広島工場	ヘキサメチレンテトラミン、ダイオキシン類

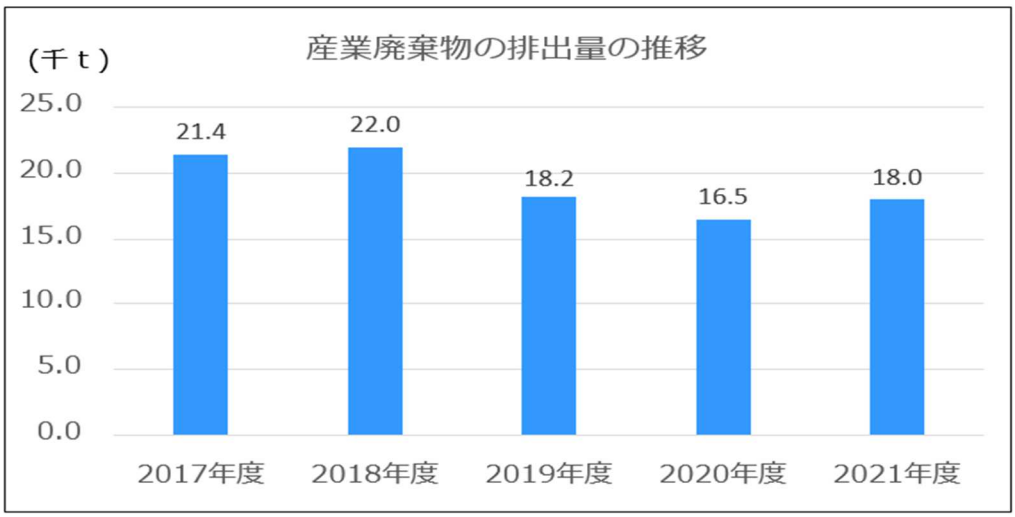
※ PRTR とは、化管法により指定されている化学物質が、どのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組みです。

・産業廃棄物の総排出量

当社は、産業廃棄物を削減するための代表的な取り組みである４Ｒ（抑制・削減・再利用・再資源）により、産業廃棄物の総排出量の削減、発生した産業廃棄物の有効利用、及び総排出量から単純（埋立）処分される産業廃棄物の削減（ゼロエミッション）を推進しています。

2021 年度の総排出量の実績は 18.0 千ｔとなり、2020 年度と比べて約 9.1%増加しました。

今後とも更なる廃棄物の排出量抑制に努めていきます。



・産業廃棄物の総排出量に対する単純（埋立）処分量

2021 年度の単純（埋立）処分量、及び産業廃棄物総排出量に対するその割合は、2020 年度に比べ単純処分量 32t 増と約 12.4%増加し、さらに単純処分率も約 0.05%増加しました。

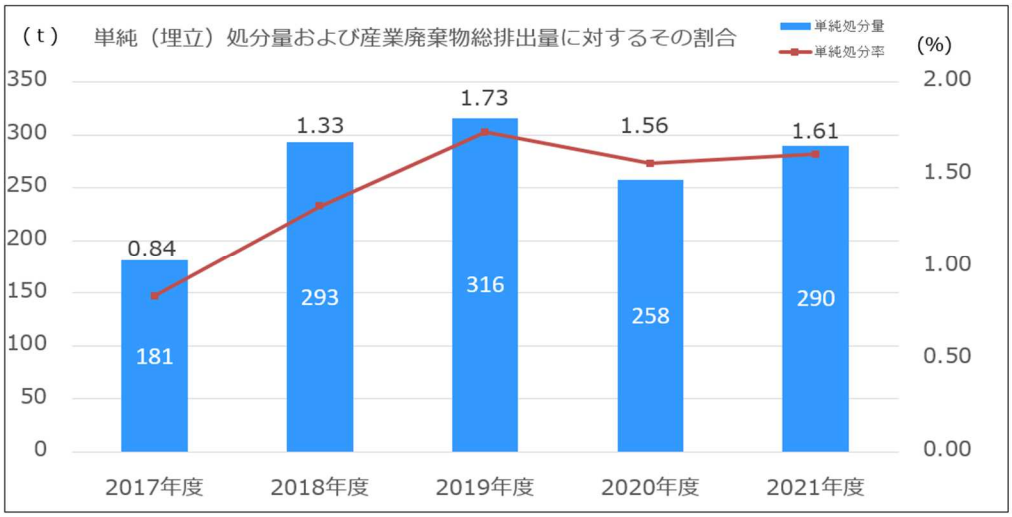
単純（埋立）処分量の低減等に向けた当社の主な取り組みとしては、

・４Ｒ（抑制・削減・再利用・再資源）の徹底

・産業廃棄物の分別による有価物化

・市場での有効利用に関するニーズ探索

を推進しています。さらに、今後も産業廃棄物の総排出量に対する単純（埋立）処分量の割合を１％以下に抑えるよう努めます。



3. 労働安全衛生および社員の健康増進への取り組み

1）安全衛生活動の取り組み

・安全衛生活動の方針

“安全をすべてに優先させ、安全・快適な職場を創ろう”のスローガンの下、必要な経営資源の積極的投入、及び率先垂範の励行により、「誰もが安心して健康に働くことができる職場」の実現に向け労働安全衛生活動を推進しています。

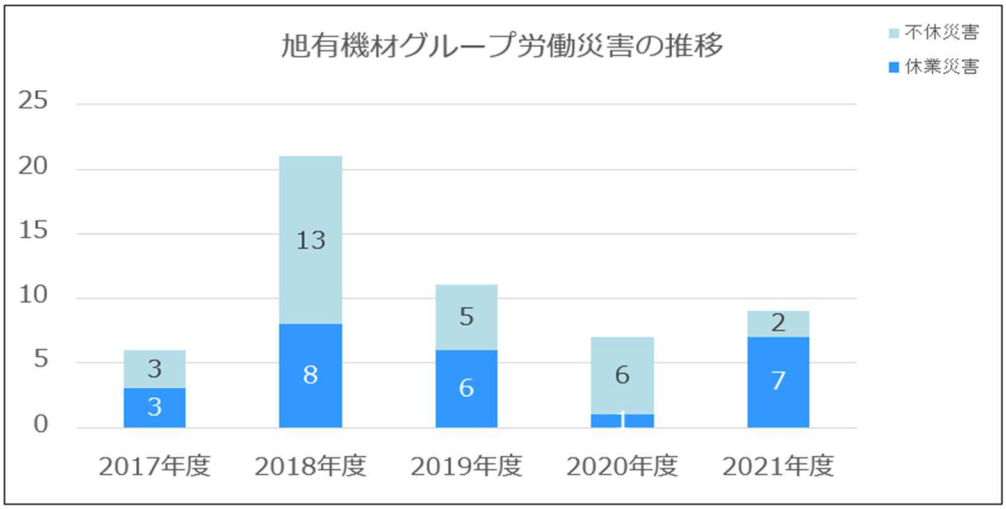
2）労働災害

・当社グループの労働災害発生件数

2021 年度の労働災害の発生件数は、全体で 9 件と 2020 年度に比べ、休業災害は増加しました。

当社グループでは、“安全な人づくり”、“安全な場づくり”という 2 つの視点から、コミュニケーションの促進、5 S の徹底、リスクアセスメントによる設備・機械の安全と使いやすさの追求など、具体的な安全活動の実践によって労働災害の防止に向け取り組んでいます。

なお、2020 年度は新型コロナの影響により、社長による国内製造工場の安全パトロールが実施でききませんでしたが、2021 年度は国内すべての製造工場を対象とした安全パトロールを実施しました。また、管理監督者・新入社員等を対象とした安全衛生教育などの実施、さらに指差呼称、ヒヤリハット気がかり提案、危険予知活動など日常的な安全活動を通して安全な風土づくりに努めています。



		実績値				
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
休業災害発生件数	単独	0	2	1	1	3
	グループ会社	3	6	5	0	4
	連結合計	3	8	6	1	7
不休災害件数	単独	2	4	1	3	0
	グループ会社	1	9	4	3	2
	連結合計	3	13	5	6	2
休業災害度数率	単独	0.00	1.25	0.61	0.60	1.75
	連結合計	0.90	2.22	1.52	0.26	1.81
	※(参考)プラスチック製造業平均	0.31	0.10	0.32	0.31	0.31
全災害度数率	単独	1.28	3.75	1.22	2.38	1.75
	連結合計	1.81	5.82	2.79	1.81	2.32

※ プラスチック製造業平均休業災害度数率は、各年の 1 月～12 月分を調査されたものです。

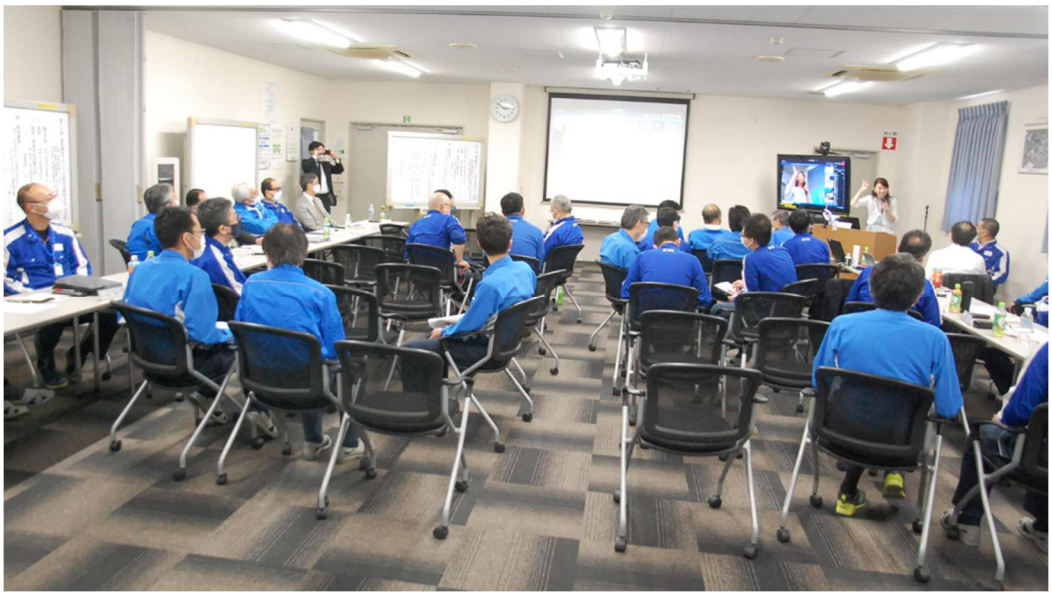
出典_労働災害動向調査（厚生労働省）

旭有機材データは年度データ（例 2021 年度_2021 年 4 月～2022 年 3 月）としています。

・全国安全徹底大会

2022 年 4 月、「第 17 回 全国安全徹底大会」を開催しました。昨年までは年度末の 3 月に開催しておりましたが、本年より昨年の活動の総括と新年度の方針を明確にするため、新年度 4 月の開催とし、経営層と安全担当者が愛知に集まり議論を行いました。また、より多くの従業員に参加してもらうため、東京、延岡、愛知、栃木、広島等、各拠点をＷＥＢ会議システムで接続しました。

本年の大会では、「０災を達成するためのコミュニケーションの大切さ」を議論し、その中の一つとしてフリーアナウンサー 荒生暁子様による「安全・安心の話し方 ～伝達不全をなくし、ゼロ災害～」をテーマとした講演を開催しました。



WEB 会議システム併用による第 17 回全国安全徹底大会風景（愛知会場）

荒生暁子氏の講演風景

延岡会場の全国安全徹底大会風景

またドリコ株式会社では、2021 年 6 月、「ドリコ 安全と健康を守る会 定時総会」「ドリコ株式会社安全大会」を開催しました。当日はコロナの影響もあり、WEB 会議システムによる安全講話、安全表彰、及び安全標語の投票結果などが発表され安全宣言（安全の誓い）が行われました。

ドリコ株式会社安全大会風景

採択された安全標語

・経営者による環境・安全パトロール

当社の国内すべての製造工場を対象とした社長安全パトロールを、広島工場 7 月 13 日、愛知工場 7 月 16 日、栃木工場 7 月 26 日、管材製造所（延岡地区）8 月 4 日に実施しました。

2020 年度は、新型コロナウィルスの影響により社長によるパトロールが実施できませんでしたが、2021 年度は、「安全への感性を向上させる」をテーマとして、各工場構内での実践状況や、最近の事故災害に関する対策・横展開状況などの報告を行いました。さらに、それらの具体的な内容についての詳細な議論を通じ、安全意識の向上が図れた有意義なパトロールでした。

環境・安全パトロール風景（延岡）

環境・安全パトロール風景（愛知）

3）社員の健康促進

・健康ポイントプログラムの導入

従業員の健康を経営課題の一つと捉え、「健康経営」と「人的資本への投資」の目的で、健康ポイントプログラムを 2020 年 9 月に導入しました。健康ポイントプログラムは、ヨガ、ストレッチ、筋トレなどのエクササイズ、歩数、体重、睡眠時間、食事、飲酒量など日々の活動を記録することで見える化し気づきを与えるシステムです。なお当社では毎月、個人別・地区別・所属別歩数ランキングを社内掲示版で公開することで運動意識を高めています。また、ランキング上位 60 位までの従業員の歩数は 10,000 歩を超えており、確実に健康のためにウォーキングをする風土が醸成されてきています。このように健康づくりを日常の話題としたコミュニケーションが活性化することで一体感も生まれ、明るい職場健康習慣を定着させるための福利厚生の一環としても行っています。

健康ポイントアプリ

新入社員 アプリ登録

・メンタルヘルス講演会

当社は社員のメンタルヘルスケアに力を入れており、2012 年度から毎年、当社産業医でもある赤坂診療所所長の渡辺登先生をお招きし、メンタルヘルス講演会を行っています。2021 年度は、コロナ禍下でありましたので、WEB にて 7 月 7 日に実施しました。また、当社の社報である＋POWER（プラスパワー）に、毎月「メンタルヘルスアドバイス」と題するコラムを執筆していただいており、2012 年以来、当社社員のメンタルヘルスケアにご尽力していただいています。

メンタルヘルス講演会の WEB 画面

・健康宣言優良事業所「金」認定

2020 年度は、全国健康保険協会宮崎支部様より、「健康宣言優良事業所」として、「銀」の認定を頂きました。

2021 年度では、新型コロナウィルスの影響が続いていることから従業員の健康・メンタルヘルス不調が発生するリスクが拡大すると予想し、「健康アプリ」の導入、社会福祉士による「生活総合相談サービス」、「メンタルヘルス講演会」の開催による「運動」と「心の健康」に取り組みました。

これらの活動が評価され、2021 年 12 月に、「金」の認定を頂くことができました。

健康宣言優良事業所「金」認定証

・健康測定

2021 年 12 月より、社員の健康に対する意識向上のため、公益財団 福岡労働衛生研究所様による健康測定を実施しました。測定項目は、握力、座位体前屈、全身反応時間、ロコモ、閉眼片足立ちの５つで、それぞれ全国平均と比較し、自分の立ち位置を確認し、今後の運動等に活用できるよう役立てます。

健康測定風景

健康測定結果の説明風景

4．保安防災への取り組み

1）保安防災に関する基本方針

当社グループは、安定操業の維持と保安防災管理のレベルの向上に努め、従業員と地域社会の安全を確保するために保安防災活動を推進しています。

特に人命第一の思想の基、緊急時対応のための訓練を毎年全工場にて実施しています。昨年は新型コロナウィルスの影響で縮小せざるを得ませんでしたが、本年は各地域の事情を加味しながら訓練を実施しました。

2）取り組み事例

・防火訓練

延岡工場では、2021 年 11 月に工場火災防止を目的として、避難訓練、消火訓練を実施しました。また、愛知工場では、2021 年 11 月 丹羽広域事務組合消防本部予防課様による消火訓練を実施し、社員の防災意識の向上に取り組みました。

避難訓練風景（延岡）

消火訓練風景（延岡）

消火訓練風景（愛知）

・シェークアウト訓練

当社では地震などの自然災害に備え緊急地震速報装置を設置しており、緊急地震速報訓練と連携した「シェークアウト訓練」を定期的に実施しています。これは地震が発生したときに安全確保行動 1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練であり、いざという時に備えておくために必要不可欠なことです。

2021 年も例年通り消防庁などの行政機関の呼びかけに応じ愛知工場、栃木工場、広島工場にて 11 月に実施しました。

シェークアウト訓練風景

5．製品安全への取り組み

1）製品安全に関する基本方針

当社グループは、「信頼の品質」と「真摯な対応」を通じて満足していただける製品・サービスの提供に努めており、より優れた、より安全な製品・サービスの提供を通じて、人びとの幸福と社会の発展に寄与することを目指しています。

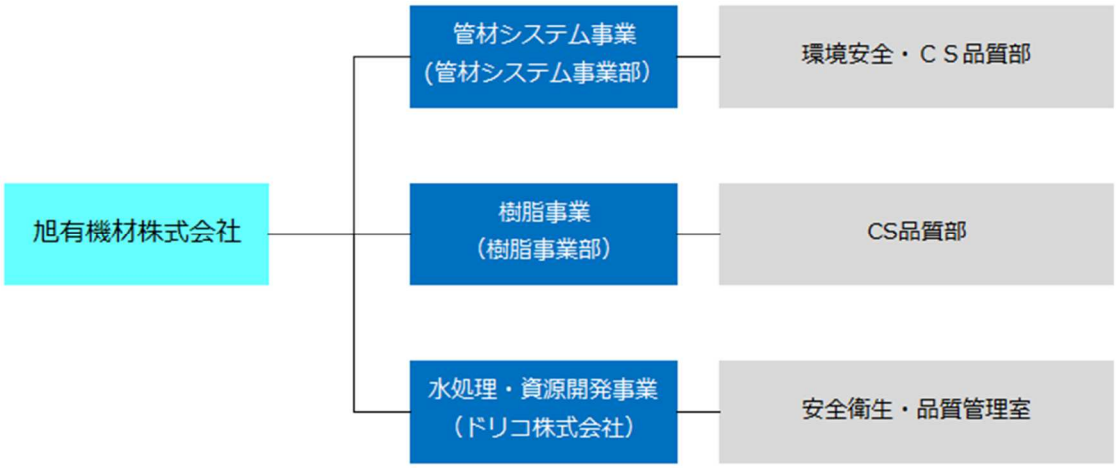
製品安全に関する基本方針

顧客の信頼と満足が得られる、より優れた、より安全な製品の創出を通じて、人間の幸福と社会の発展に寄与する。

- 顧客の立場で製品を開発すること。
- 技術を錬磨し、品質管理を徹底して、ものづくりをすること。
- 製品を正しく安全に使っていただく営業を実践すること。
- 製品がその効用を終え、廃棄されるまでのすべての段階における環境と安全に与える影響を配慮すること。

2）製品安全に関する社内推進体制

当社は事業部に品質保証部門を設置し、ISO9001 品質マネジメントシステムをベースに品質保証・製品安全体制を構築し、お客様のお役立ちを第一に考えるものづくりに取り組んでいます。



3) 製品安全に関する取り組み

・行為保証・品質工学による取り組み

管材システム事業部延岡工場では、2011 年度より「行為保証」への取組み等を通して品質トラブル撲滅を推進した結果、製造品質をより一層強化することができました。更に工程の上流である設計・開発に起因するトラブルを撲滅するために、2018 年 9 月より「品質工学」への取り組みをスタートし、社外専門家である株式会社ジェダイト 鶴田明三 先生をお招きし毎月「品質工学インハウスセミナー」を開催しており、過去 3 期実施し、21 名が受講しました。2022 年度も引き続き第 4 期目がスタートしています。

また、2021 年 4 月から樹脂事業部愛知工場でも受講を開始し、2022 年度は 2 期目がスタートし、品質向上の取り組みを強化しています。

株式会社ジェダイト
鶴田明三 先生

品質工学受講風景

6．地域・社会との協調と共生

1)地域・社会との協調と共生に関する基本方針

当社は、旭有機材行動規範の実践すべきことの中の「社会への貢献」の理念の下、積極的に地域との交流活動を行っていますが、2020 年度以降、新型コロナの影響で地域との関わりは自粛せざるを得ない状況が続いています。

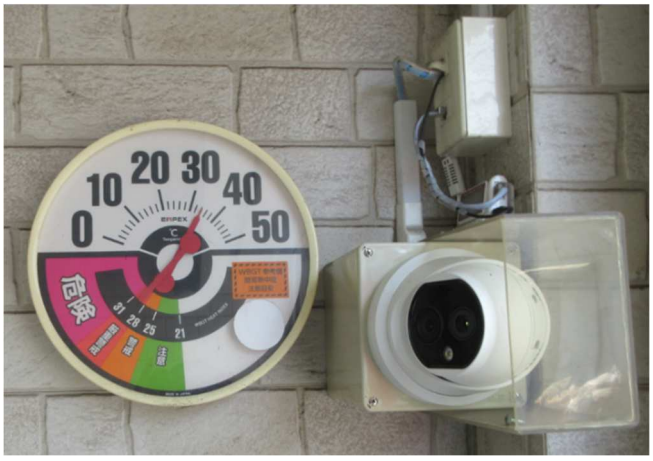
2)取り組み事例

・職域接種

2021 年度は新型コロナウィルスの影響で非常事態宣言も出される中、厚生労働省の指針に基づきマスク・手洗いの励行、会議室などでの 3 密を防ぐ取り組み、工場立ち入りの際の徹底した体温測定管理、東京本社を中心とした自宅でのリモートワーク推進等行い、現在も継続しています。また工場立ち入りの際は、自動体温測定装置を設置し、徹底した体温計測管理を実施しています。

東京および延岡地区では、国の方針に基づく職域接種を実施しました。東京地区では、グループ会社のドリコ、アビトップ、ランドウィックと共同にて、1 回目：2021 年 7 月、2 回目：2021 年 8 月、3 回目：2022 年 3 月に実施しました。また、延岡地区では、近隣の興電舎様と共同で当社事業所内にて、2021 年 8 月、2021 年 9 月に実施しました（3 回目は延岡市接種を利用）。

延岡本社での職域接種風景



自動体温計測器

・工場周辺の５S 活動

工場周辺地域の方たちが工場周辺にいらしても、不快な思いをされないよう、工場周辺の清掃など美化活動を定期的に行っています。延岡工場では 2021 年 11 月、栃木工場では、2021 年 5 月に実施しました。

延岡工場の清掃活動風景

栃木工場の清掃活動風景

・献血活動

当社延岡工場では、国内で使用される血液製剤のすべてを献血により賄うという国の方針に沿って取り組んでいる、宮崎県赤十字センター様の献血推進活動に協力しています。

2021 年度は、延岡工場構内で 4 月、10 月 に献血を行い、計 100 名の目標に対して 116 名が受付し、107 名がそれぞれ 400ml の献血を実施しました。また、愛知工場では 2022 年 1 月に、目標 30 名に対し、18 名が受付し、17 名が 400ml の献血を行いました。

延岡工場での献血風景

・新「ゆうきの森・上三輪」第二期植樹活動

当社は宮崎県が取り組んでいる「企業の森つくり」に 2008 年より参画しており、第二期植樹活動として延岡市上三輪町（かみみわまち）での森林整備に取り組んでいます。

2021 年度も 4 月に第 3 回植樹活動を開催する予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で中止としました。なお、これまでの「ゆうきの森・上三輪」植林による 2021 年度二酸化炭素吸収量は、宮崎県の認証によれば、7.25t-CO_2 / 年でした。

2019 年当時の植林風景

2022 年 3 月 風景

・藤前干潟の不法投棄ごみと漂着ごみの撤去

愛知工場では例年、愛知県産業廃棄物協会様が行政機関との連携で行う「藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業」に参加してきましたが、2021 年度は新型コロナウィルスの影響で撤去活動が中止となりました。

・地域の夏祭りへの参画

当社の延岡工場、愛知工場、栃木工場では地域活性化活動の一環として毎年夏祭りに参加してきましたが、新型コロナウィルスの影響により、宮崎県延岡市の「2021 年 第 43 回 まつりのべおか」、愛知工場主催の「夏祭り」、及び栃木県大田原市の「2021 年 第 39 回 与一祭り」は中止となりました。

発行日　２０２２年９月
旭有機材株式会社